



第6回中国四国地区アーカイブズウィーク・アーカイブズ展示
「ポスター・写真・映像に見る昭和のやまぐち
～昭和38年山口国体のころ～」 解説書



ポスター・写真・映像に見る

昭和のやまぐち

～昭和38年山口国体のころ～

開催にあたって



中国四国地区アーカイブズウィークは、昭和63年(1988) 6月1日、我が国で初めて、アーカイブズ（記録資料）の保存利用に関する法律「公文書館法」が施行されたことを記念して、アーカイブズの重要性と保存利用についてPRするものです。6月1日から5日を中心として、中国四国地区の文書館施設が様々な行事を開催します。

第6回となる今回のウィークでは、今秋行われる、第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」・第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ！山口大会」の文化プログラム事業の一つとして、昭和38年山口国体ころの山口県の様子を、当館所蔵のポスター・写真・映像で紹介いたします。

これらの資料をとおして、懐かしい「昭和のやまぐち」を振り返っていただくとともに、これを機に、アーカイブズ保存の重要性について理解を深めていただければ幸甚です。

平成23年6月1日

山 口 県 文 書 館

出 品 目 録

No.	資料名	請求番号
1	山口国体新聞記事切り抜き帳	平田豊彦文書52
2	山口国体新聞記事切り抜き帳（写真パネル①）	平田豊彦文書52
3	山口国体新聞記事切り抜き帳（写真パネル②）	平田豊彦文書52
4	山口国体新聞記事切り抜き帳（写真パネル③）	平田豊彦文書52
5	山口国体新聞記事切り抜き帳（写真パネル④）	平田豊彦文書52
6	第18回国体 柔道	60各団-140
7	第18回国体 ボクシング	60各団-127
8	第18回国体 陸上	60各団-126
9	第18回国体 水泳	60各団-151
10	第18回国体 ウエイトリフティング	60各団-135
11	第18回国体 相撲	60各団-136
12	第18回国体 馬術	60各団-137
13	第18回国体 卓球	60各団-138
14	第18回国体 体操	60各団-128
15	第18回国体 蹴球	60各団-142
16	第18回国体 ソフトボール	60各団-146

17 第18回国体 レスリング	60各団-147
18 国体入場券	佐々木克己氏蔵
19 国体通行証	佐々木克己氏蔵
20 国体参加章	佐々木克己氏蔵
21 国体バッジ (プレス・鳩の会)	佐々木克己氏蔵
22 山口県選手団名簿	平田豊彦文書8
23 第18回国民体育大会 大会旗リレー実施要項	60各団-91
24 山口国体 ガイドブック	60各団-113
25 山口国体 ハンドブック	60各団-103
26 Press Guide 第18回国体夏季大会	60各団-110
27 国体の食事	60各団-74
28 サービスのしおり 料飲店編	60各団-116
29 サービスのしおり 旅館編	60各団-117
30 交通のしおり 山口国体夏季大会	リーフレット昭和38 - 14
31 県民の歌発表会	リーフレット昭和38 - 25
32 第18回国民体育大会秋季大会 山口市宿泊交通案内	リーフレット昭和38 - 12
33 幼稚園において健民運動をどのように進めるか 第2集 指導事例編	60教育-1432
34 小学校において健民運動をどのように進めるか 第2集 指導事例編	60教育-1431
35 中学校において健民運動をどのように進めるか 第2集 指導事例編	60教育-1436
36 高等学校において健民運動をどのように進めるか 第2集 指導事例編	60教育-1437
37 栄光 第18回国民体育大会記念写真帳	図書780
38 花いっぱい運動推進資料	60教育-1428
39 花いっぱい運動推進資料 その2	60教育-1429
40 花いっぱい運動推進資料 その4 採種を中心に	リーフレット昭和38 - 16
41 花いっぱい運動推進計画	60市町-1517
42 第18回国民体育大会 徳山会場写真集	60各団-156
43 花いっぱい	60教育-1430
44 国体旗リレー	山口国体74
45 皇太子・皇太子妃を待つ人々	山口国体75
46 競技場航空写真	久幸虎雄文書37
47 県旗デザインコンクール	山口国体27
48 秋季国体記録	山口国体181
49 歓迎風景	山口国体182
50 国体栄養展	山口国体13
51 鼓笛隊パレード	山口国体224
52 ようこそいらっしゃいました	山口国体460
53 民泊の出迎え	山口国体176
54 開会式マスゲーム	山口国体145
55 旗リレーの通過を待つ人々	山口国体44
56 国体パレード	山口国体33
57 山口県陸上競技場建設工事	山口国体4
58 開会式	山口国体90
59 夏季大会会場歓迎門	山口国体32
60 県政だより 5月 No. 6	ポスター昭和25 - 1
61 県政だより 7月 No. 9	ポスター昭和25 - 2
62 県政だより 8月 No. 10	ポスター昭和25 - 3
63 県政だより 9月 No. 11	ポスター昭和25 - 4
64 県政だより 10月 No. 12	ポスター昭和25 - 5
65 県政だより 1月 No. 16	ポスター昭和26 - 1
66 県政だより 3月 No. 18	ポスター昭和26 - 3
67 県政だより 5月 No. 20	ポスター昭和26 - 5
68 県政だより 10月 No. 25	ポスター昭和26 - 9
69 県政だより 11月 No. 26	ポスター昭和26 - 10
70 県政ニュース35mmフィルム容器	映画フィルム-広報課35mm
71 県政ニュース16mmフィルム	映画フィルム-広報課43
72 県政のしおり第7号 昭和29年4月特集号	50総務-25

出 品 解 説

I. 「新聞切り抜き帳」に見る昭和38年山口国体 ー東京オリンピックを翌年に控えた記録ラッシュの大会ー



「山口国体新聞記事切り抜き帳」(No.1)は平田寿美江氏作成の昭和38年山口国体に関するスクラップブックです。中学校1年時の作品で、中学生の目線から山口国体がとらえられています。国体の準備から終了まで、新聞記事のほか、「県政やまぐち」の国体特集号や完成したばかりの陸上競技場のリーフレット、国体栄養展のしおりなどがスクラップされており、バラエティーに富んだ内容になっています。

昭和38年山口国体は東京オリンピックを翌年に控え、各競技とも熱戦が繰り広げられた結果、空前の新記録ラッシュの大会となりました。世界新記録3、世界タイ記録1、日本新記録33、日本タイ記録14、大会新記録に至っては204を数えました。山口県勢の活躍も目覚ましく、この切り抜き帳からも、新記録に沸き、県全体が高揚感に包まれた大会だった様子が伝わってきます。

陸上競技男子5000mで日本新記録で優勝した円谷幸吉選手(No.2)や、ウエイトリフティングバンタム級でジュニア世界新記録を出した一ノ関史郎選手(No.3)などの活躍が大きく切り抜かれています。これらの選手は翌年の東京オリンピックでも活躍しました。また、開会式で選手宣誓をした山口県の今橋靖刀選手は、相撲競技教員の部で優勝しています(No.4)。その他、中学生ながら、競泳一般の部に出場し活躍した水泳界のホープ木原美知子選手(No.5)や、後に大相撲の横綱として活躍した輪島選手(No.4)の記事なども見えます。

II. 各種目別プログラム



山口国体での各種目別プログラムです(No.6~17)。山口国体は夏季大会と秋季大会を合わせて、県内69会場・32種目の競技が行われました。各種目ごとの準備や大会運営は、会場の市町村が中心となって行いました。これらの種目別プログラムも、会場の市町村および種目別協会との協議の上で作成されました。表紙の色遣いや文字のデザインなどから、国体が行われた当時の雰囲気が伝わってきます。

Ⅲ. 国体入場券・参加章・バッジ

No.18は山口国体の各種入場券です。これらの入場券は当時、国体事務局広報部職員であった佐々木克己氏によりデザインされました。入場券の半券に記されている「赤席」「だいたい席」「青席」などの色表示は、スタンドでの席の区分に対応しています。第1次・第2次模擬国体においても本番どおりの入場整理のシミュレーションがなされており、このことが大会当日の円滑な運営につながりました。No.19は通行証、役員引き替え券等です。これらの資料から、大会運営の細部を知ることができます。No.20は国体参加章で、大会役員、競技役員、選手、監督等に交付されました。図案制作者は山口県の洋画家香月泰男氏で、中心に干支のウサギを配し、飛翔を表すトビウオ、冬季大会を表現した雪の結晶があしらわれ、ローマ数字で第18回大会の18の数字が入れています。No.21は報道関係者に交付されたプレスバッジと「山口国体鳩の会」のバッジです。開会式では、4000羽の鳩が放たれましたが、国体鳩の会が、その飼育・調教の任にあたりました。

Ⅳ. 大会各種運営資料

No.22～32は大会開催にあたって作成された各種資料です。国体事務局の組織は総務部、財務部、経理部、用度部、演技部、施設部、広報部、輸送部、宿泊接待部、衛生部、警備部、交通部に分かれていましたが、それぞれの担当部署で大会運営のため膨大な量の資料が作られました。その一つ一つが山口国体の姿を今に伝える資料となっています。今回の展示ではその一部を紹介しています。

Ⅴ. 「国体へまごごろいっぱい、花いっぱい」 ―健民運動の推進―

昭和38年山口国体において、多くの県民関わった取り組みに「健民運動」がありました。これは国体を機に、県民一人ひとりが健やかな心身を持ち、お互いが明るく豊かな生活を築くことを目標とした運動で、山口国体のモットーであった「げんきに、きれいに、しんせつに」の実践活動でした。具体的には、①体育レクリエーション運動、②親切運動、③交通安全運動、④清掃美化運動、⑤花いっぱい運動、⑥郷土を知る運動の6つからなっていました。健民運動は学校教育の場において、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、それぞれで積極的に取り組まれました（No.33～36）

ここでは、健民運動の実践の大きな柱であった「花いっぱい運動」を例にとってみましょう。

第18回国民体育大会報告書に、文部省体育局長前田充明氏の次のような文章があります。「朝早く防府駅に着いた私は、宿舎に向かう車窓からふと眺めた沿道の花の美しさにまず心をひかれた。カンナであろうか、目にしみるような赤と緑が汽車の疲れを忘れさせ、朝のすがすがしさと山口県民のあたたかい歓迎のまごころがひしひしと身にしみる思いであった」。この文章に見えるように、花いっぱい運動は県内を大きく包んだ、成果の大きく上がった運動でした。No.37の写真は周南市戸田付近の国道2号線の様子で、道の両側にカンナが見事に咲いています。No.38・39・40の花いっぱい運動の推進資料には、花の育て方や、花壇の作り方などが具体的に書かれています。No.41は岩国市での花いっぱい運

動の推進計画書、No.42は徳山市（現周南市）での花いっぱい運動の取り組みの様子です。またNo.43は昭和41年に発行された花いっぱい運動に関する資料で、この資料から、国体が終わった後も引き続き運動が行われ、県民の心の財産として受け継がれたことがわかります。

Ⅵ. 山口国体写真パネル



①国体旗リレー（No.44）

国体旗は、前年度開催県の岡山県から広島県を経て、県内全市町村をリレーされ、県陸上競技場へ運ばれました。旗リレーには、地域の人々が老若男女を問わず参加し、国体の機運を大きく盛り上げました。また、旗リレーの写真には、県内各地の当時の町並みや声援を送る人々の様子が写されており、当時を振り返ることのできる貴重な資料となっています。



②皇太子・皇太子妃を待つ人々（No.45）

宇部市で、皇太子・皇太子妃をお迎えする様子です。人々の服装や子どもたちの髪型などから当時の雰囲気が良く伝わってきます。また、人々の明るい表情が実に印象的です。

③競技場航空写真（No.46）

開会式当日の競技場風景です。超満員のスタンドや貸し切りバスでぎっしりと埋まった駐車場が目を引きます。建設されたばかりの競技場の周囲の様子もよく分かります。

④県旗デザインコンクール（No.47）

県旗は、県政施行90周年を記念して、国体の前年、昭和37年9月に制定されました。県旗のデザインは全国から募集され、580人、1681点の作品から選ばれました。写真は応募作品の前に立つ橋本知事です。

⑤秋季国体記録本部（No.48）

秋季大会では、山口市の湯田小学校に記録本部が設けられ、28種目、59会場の記録が集められ、

集計されました。天井からつるされた札には競技名が書かれています。

⑥歓迎風景（No.49）

小郡駅（現・新山口駅）での選手歓迎風景です。写真に見える沖縄県は、前年度の岡山大会から正式に国体に参加しています。

⑦国体栄養展（No.50）

8月に、ちまきやデパート（山口市）で開かれた「国体の食事と栄養展」です。国体の標準献立の実物展や調理実演が行われ、2日間で3000人が参加しました。

⑧鼓笛隊パレード（No.51）

私立高校女子生徒による鼓笛隊パレードです。山口市商店街（現・山口井筒屋付近）の様子がよく写っています。



⑨ようこそいらっしゃいました（No.52）

徳山市（現・周南市）総合案内所での歓迎風景です。

⑩民泊の出迎え（No.53）

旅館など宿泊施設の不足を補うために個人宅を利用した民泊が行われました。写真は選手が温かく迎えられている様子です。家の前には歓迎用国旗・大会旗・提灯が見えます。

⑪開会式マ스ゲーム（No.54）

山口高校男子生徒による「錦帯橋」のアーチです。若者の澁刺とした躍動感が伝わってきます。

⑫旗リレーの通過を待つ人々（No.55）

旗リレーの通過を待つ人々と交通整理の警察官です。まもなく通過するリレー隊に期待感が高まっています。当時のトランシーバーの大きさが目をひきます。

⑬国体パレード（No.56）

国体旗を掲げた自動車によるパレードです。旧山口市役所（現・山口中央郵便局）前。

⑭山口県陸上競技場建設工事（No.57）

国体開催に伴い県陸上競技場を初め競技施設の建設や整備が進みました。また、各会場を結ぶ幹線道路も整備されました。

⑮開会式 (No.58)

秋季大会の開会式では4000羽の鳩が放たれました。県内の鳩飼育者によって結成された「山口国体鳩の会」がこの任にあたりました。

⑯夏季大会会場歓迎門 (No.59)

夏季大会は、9月15日から18日までの4日間、宇部市を主会場に行われました。

VII. 県政だより



県政だより (No.60~69) は、昭和24年12月の創刊号から昭和34年4月の122号まで発行されたポスターです。毎月1回、6000部（昭和27年度までは4000部）が刷られ、県下一円、各自治会に配付され、県政の動きがわかりやすく伝えられました。毎号、親しみやすい絵と文字でデザインされ、県政の今が伝えられています。今回の展示では、山口県がいよいよ国体誘致に動き出す昭和26年前後の県政だよりを展示しています。

VIII. 県政ニュース



テレビが一般家庭に普及する以前、映画が人々の娯楽の中心でした。映画館数、入館者数とも昭和33年にピークを迎えます。そのような時代、県政ニュース映画は、県政の実態を県民に効果的に伝える手段として、昭和27年11月に制作が開始されました。撮影はすべて県民室の職員が行い、編集・録音等は東京で読売映画社が委託制作し、県下の映画館で本編の前にニュース映画として上映されました。16ミリフィルム4本が同時にプリントされ、教育庁視聴覚ライブラリーを通じて各市町村及び公共団体等に無償で貸し出されました。毎回、3ないし4つの話題で構成されていますが、特に山口国体の直前には国体PRの一環として、毎回国体関係のニュースが取り上げられました。

山口国体翌年の昭和39年に行われた東京オリンピックを契機にテレビはますます各家庭に普及し、それと反比例するように映画館の入館者数は減少しました。それに伴い、県政ニュースは昭和40年の第57号を最後にその役目を終えました。県政の今を県民に伝えるために作られた「県政ニュース」は、現在、当時の山口県の姿を私たちに伝えてくれる大変貴重な資料となっています。